



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場会社名 株式会社 有沢製作所
 コード番号 5208 URL <http://www.arisawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有沢 悠太
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画部担当 (氏名) 増田 竹史
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 025-524-7101

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	34,327	△1.1	2,077	△21.6	2,221	△39.0	△118	—
2019年3月期第3四半期	34,696	14.4	2,648	0.5	3,644	14.1	2,411	△9.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △22百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 1,530百万円 (△67.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△3.38	—
2019年3月期第3四半期	66.73	66.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	71,537	49,091	64.7	1,393.18
2019年3月期	73,096	53,462	69.3	1,397.78

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 46,298百万円 2019年3月期 50,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2020年2月6日)公表いたしました「通期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	45,700	2.2	2,750	△11.8	2,800	△34.8	450	△84.3
								13.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2020年2月6日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	36,367,924 株	2019年3月期	36,226,224 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,135,820 株	2019年3月期	7,378 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	35,159,633 株	2019年3月期3Q	36,134,606 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による貿易摩擦の動向や金融政策に対する懸念、中国経済の減速等により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の当第3四半期累計期間の業績は、売上高は343億27百万円（前年同期比1.1%減）となりました。また、損益は営業利益20億77百万円（前年同期比21.6%減）、経常利益22億21百万円（前年同期比39.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億18百万円（前年同期は、親会社株主に帰属する四半期純利益24億11百万円）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失となりました理由は、当第3四半期において持分法適用関連会社でありました㈱ポラテクノの株式売却に関する税金費用を計上したことに加え、特別損失として電子材料とディスプレイ材料セグメントにおきまして減損損失624百万円を計上したことによります。

電子材料セグメントにおいては、連結子会社である㈱サトーセンが製造、販売を行うリジッドプリント配線板事業において、市場および事業環境の変化に伴う収益性の低下があることから、直近の事業計画に基づいて将来の収益見込みを検討しました結果、固定資産の帳簿価額を回収可能額まで減額したためであります。また、のれんの減損も計上しております。

ディスプレイ材料セグメントにおいては、連結子会社であるカラーリンク・ジャパン㈱での偏光利用機器の分野で見込んでおりました新規事業の市場形成が予想より遅れており収益性が低下していることから、直近の事業計画に基づいて将来の収益見込みを検討しました結果、固定資産の帳簿価額を回収可能額まで減額したためであります。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

（電子材料）

フレキシブルプリント配線板材料の販売は堅調に推移しましたが、㈱サトーセンでのリジッドプリント配線板の販売が減少したこと等により、売上高は224億77百万円と前年同期に比べ1億54百万円（前年同期比0.7%）減少しました。営業利益は、リジッドプリント配線板の販売が減少したことにより19億35百万円と前年同期に比べ3億4百万円（前年同期比13.6%）減少しました。

（産業用構造材料）

航空機用材料の販売は堅調に推移しましたが、水処理用圧力容器の販売が減少したこと等により、売上高は64億57百万円と前年同期に比べ1億66百万円（前年同期比2.7%）の増加

にとどまりました。営業利益は、水処理用圧力容器の販売が減少したことにより 9 億 62 百万円と前年同期に比べ 77 百万円（前年同期比 7.5%）減少しました。

（電気絶縁材料）

インフラ関連向けの販売が減少したことから、売上高は 22 億 69 百万円と前年同期に比べ 1 億 37 百万円（前年同期比 5.7%）減少しました。営業利益は、販売額の減少により 2 億 48 百万円と前年同期に比べ 96 百万円（前年同期比 27.9%）減少しました。

（ディスプレイ材料）

3D 関連材料の販売は堅調に推移しましたが、カラーリンク・ジャパン(株)での偏光利用機器の販売が減少したことから、売上高は 25 億 73 百万円と前年同期に比べ 2 億 13 百万円（前年同期比 7.6%）減少しました。営業利益は、偏光利用機器の減少を 3D 関連材料の収益が補った結果、1 億 50 百万円と前年同期に比べ 57 百万円（前年同期比 61.8%）増加しました。

（その他）

売上高は 5 億 49 百万円と前年同期に比べ 30 百万円（前年同期比 5.3%）減少しました。営業利益は 1 億 46 百万円と前年同期に比べ 5 百万円（前年同期比 3.3%）減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて 15 億 59 百万円減少し、715 億 37 百万円となりました。これは主に、関連会社であった㈱ポラテクノの株式譲渡と自己株式の取得によるものであり、現金及び預金が 58 億 97 百万円増加し投資有価証券が 80 億 47 百万円減少しております。負債は、前連結会計年度末に比べて 28 億 11 百万円増加し、224 億 45 百万円となりました。これは主に、未払法人税等が 30 億 16 百万円増加したことによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて 43 億 70 百万円減少し、490 億 91 百万円となりました。これは主に、自己株式を 32 億円取得したことと、利益剰余金が 12 億 5 百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月7日に公表しました2020年3月期の通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	45,600	3,050	3,200	1,050	30.56
今回修正予想 (B)	45,700	2,750	2,800	450	13.54
増減額 (B - A)	100	△300	△400	△600	
増減率 (%)	0.2	△9.8	△12.5	△57.1	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	44,728	3,119	4,297	2,861	79.15

2020年3月期の通期の連結業績につきましては、売上高は前回予想並みに推移するものの、営業利益、経常利益は、電子材料セグメントにおいて連結子会社の㈱サトーセンでの収益が悪化していることから、前回予想を下回ると見込んでおります。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社の2社（㈱サトーセン及びカラーリンク・ジャパン㈱）において当第3四半期に減損損失を計上したことから、前回予想を下回ると見込んでおります。

なお、新型コロナウイルスによる業績への影響は現時点では未定のため、本業績予想には織り込んでおりません。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,193,697	14,091,061
受取手形及び売掛金	16,127,374	17,429,954
有価証券	1,401,188	1,487,631
商品及び製品	4,012,943	3,167,019
仕掛品	1,941,748	2,103,815
原材料及び貯蔵品	3,378,698	3,284,280
その他	1,190,214	1,173,460
貸倒引当金	△668,052	△623,707
流動資産合計	35,577,813	42,113,516
固定資産		
有形固定資産	11,998,454	12,940,964
無形固定資産		
のれん	219,309	—
その他	175,923	204,538
無形固定資産合計	395,233	204,538
投資その他の資産		
投資有価証券	23,142,852	15,095,000
その他	2,125,569	1,198,456
貸倒引当金	△143,823	△15,446
投資その他の資産合計	25,124,598	16,278,010
固定資産合計	37,518,286	29,423,512
資産合計	73,096,100	71,537,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,105,195	6,409,212
短期借入金	5,394,122	5,501,509
1年内返済予定の長期借入金	779,820	189,814
1年内償還予定の社債	36,800	36,800
未払法人税等	300,788	3,316,797
賞与引当金	510,407	272,688
役員賞与引当金	3,957	4,093
その他	3,041,830	3,055,110
流動負債合計	16,172,921	18,786,025
固定負債		
社債	128,000	91,200
長期借入金	1,265,465	1,962,785
退職給付に係る負債	626,885	644,434
資産除去債務	92,502	91,858
その他	1,348,196	869,355
固定負債合計	3,461,049	3,659,633
負債合計	19,633,971	22,445,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,541,693	7,588,111
資本剰余金	6,653,615	6,700,102
利益剰余金	35,130,363	33,925,105
自己株式	△4,764	△3,204,787
株主資本合計	49,320,907	45,008,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	745,120	981,306
繰延ヘッジ損益	443	—
為替換算調整勘定	707,571	396,277
退職給付に係る調整累計額	△147,916	△87,770
その他の包括利益累計額合計	1,305,219	1,289,813
新株予約権	144,419	156,001
非支配株主持分	2,691,582	2,637,021
純資産合計	53,462,129	49,091,369
負債純資産合計	73,096,100	71,537,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	34,696,479	34,327,306
売上原価	28,307,028	28,415,924
売上総利益	6,389,450	5,911,381
販売費及び一般管理費	3,740,685	3,833,508
営業利益	2,648,765	2,077,873
営業外収益		
受取利息	247,878	239,325
受取配当金	97,087	100,368
持分法による投資利益	538,963	—
その他	399,547	222,510
営業外収益合計	1,283,475	562,204
営業外費用		
支払利息	62,692	71,129
為替差損	—	93,450
貸倒引当金繰入額	85,712	—
その他	139,597	253,589
営業外費用合計	288,001	418,168
経常利益	3,644,240	2,221,909
特別利益		
固定資産売却益	34,125	262
投資有価証券売却益	65,010	1,271,030
その他	13,546	14,244
特別利益合計	112,681	1,285,537
特別損失		
減損損失	—	448,357
のれん減損損失	—	175,447
損害賠償金	91,683	—
その他	48,759	31,753
特別損失合計	140,443	655,558
税金等調整前四半期純利益	3,616,478	2,851,888
法人税等	982,186	2,796,074
四半期純利益	2,634,291	55,813
非支配株主に帰属する四半期純利益	223,144	174,506
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,411,146	△118,692

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,634,291	55,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△913,898	236,177
繰延ヘッジ損益	1,707	△443
為替換算調整勘定	△188,103	△227,935
退職給付に係る調整額	20,289	25,690
持分法適用会社に対する持分相当額	△24,089	△111,385
その他の包括利益合計	△1,104,094	△77,897
四半期包括利益	1,530,197	△22,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,374,383	△134,097
非支配株主に係る四半期包括利益	155,813	112,014

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年8月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,128,300株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,199,887千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,204,787千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(持分法適用の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、㈱ポラテクノの株式全てを売却したため、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号(リース)の適用)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に、使用権資産及びリース負債を認識しております。

また、投資その他の資産のその他に含めていた一部の資産について使用権資産への振替を行っております。

本基準の適用に伴い、四半期連結貸借対照表は有形固定資産363,384千円、流動負債のその他32,919千円、固定負債のその他292,273千円がそれぞれ増加し、投資その他の資産のその他39,675千円が減少しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材 料	電気絶縁材料	ディスプレ イ材料	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	22,632,723	6,291,123	2,406,831	2,786,181	34,116,860	579,619	34,696,479
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	594,710	594,710
計	22,632,723	6,291,123	2,406,831	2,786,181	34,116,860	1,174,330	35,291,190
セグメント利益	2,240,316	1,040,188	344,258	93,068	3,717,831	151,577	3,869,408

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,717,831
「その他」の区分の利益	151,577
セグメント間取引消去	△81,160
のれんの償却額	△43,861
全社費用(注)	△1,071,575
棚卸資産の調整額	△24,045
四半期連結損益計算書の営業利益	2,648,765

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,477,949	6,457,995	2,269,187	2,573,141	33,778,273	549,032	34,327,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	594,321	594,321
計	22,477,949	6,457,995	2,269,187	2,573,141	33,778,273	1,143,353	34,921,627
セグメント利益	1,935,317	962,654	248,190	150,617	3,296,780	146,501	3,443,281

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,296,780
「その他」の区分の利益	146,501
セグメント間取引消去	△65,556
のれんの償却額	△43,861
全社費用(注)	△1,227,826
棚卸資産の調整額	△28,163
四半期連結損益計算書の営業利益	2,077,873

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子材料」セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産(のれんを含む)について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「ディスプレイ材料」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている資産について、帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「電子材料」セグメントが539,702千円、「ディスプレイ材料」セグメントが84,101千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「電子材料」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は当第3四半期連結累計期間において175,447千円であります。